



撮影地
西伊豆・田子沖合

「お花畑」に不思議生物

伊豆の海は黒潮の影響を強く受けるため、お花畑と呼ぶにふさわしいウミトサカやウミウチワなどのソフトコーラルの群生が、いたる所に見られる。

い海の中もまた、異次元の素晴らしい世界だという実感が胸にせまる。

その形態とカラフルな色彩は、幻想的なムードを漂わせている。生き生きと命の花を咲かせる彼らの姿を眺めるたびに、ふだん目のとどかな

伊豆の海から

あるときそんなウミトサカの枝に、ミミズのような生物が絡まっているのを見つけた。直径

1センチほどで、約20センチの長さ。触角のない茶褐色の体には黄緑の斑紋があり、表面はぬるぬるしている。写した

写真を調べてみると、軟体動物で、サンゴノヒモ類のカセミミズと判明した。ウミトサカを食って、8〜10月に産卵するらしい。軟体動物特有の歯舌（くちばり）をもっているのも、ヒモムシ類と区別される。

それにしても海の底は、ミミズか貝かわからない変な生き物がいて、想像を絶する世界だ。だから、海のお不思議に、私の探究心が駆り立てられるのかも知れない。

（水中写真家・伊藤勝敏）